

変身！押戸石の草花・草原

南小国町立中原小学校 3・4年生全員（11名）

1 研究の目的

中原小学校の校区には押戸石（おしといし）という大きな石があって、そこには草原が広がっている。去年、押戸石の草花調べをしてめずらしい草花がたくさんあることがわかった。しかし、春にたくさん咲いていたキスミレやハルリンドウが夏になくなったことや、夏には自分たちの身長よりも大きくなった草花があったりして、とてもふしぎに思った。そこで、今年は同じ草花をずっと観察してどのように変身していくのかを調べることにした。また、去年は谷の方の草だけがとても大きくなっていたので、草原がどのように変身していくのかも調べることにした。

2 研究の方法

(1) 押戸石の谷と丘と、一人二つずつ調べる草花を決めて自分で名前をつけ、目印をする。

(2) 毎月1回押戸石に行き、目印をつけた草花をさがし、草花の高さや茎の太さなどを調べる。

また、草花のようすをスケッチして写真をとる。さらに、においをかいだり、さわったりしてその草花の持ちようを調べる。

(3) 押戸石の谷の方と丘の方と、場所を決めて毎月同じ場所で並んで写真をとって草だけをはかり、草原の変身のようすを調べる。

3 研究の結果

(1) 押戸石の草花の変身

自分でつけた草花の 名前と理由	平成24年4月17日 気温 谷21℃ 丘17℃	平成24年6月11日 気温 谷25℃ 丘23℃	平成24年9月13日 気温 谷28℃ 丘28℃	図鑑などで調べたこと (●は絶滅つき具種)
キスミレ ・黄色くてスミレみたいだったから	高さ 6 cm ・ふんわりしてとてもいいにおいだった。花がいっぱい。	高さ 0 cm ・6月になったら何もなかった。6月にはもうない。	高さ 0 cm ・何もなかった。	名前: キスミレ● ・野焼きのあと、まっさきに開花し群生する
ケンソウ ・けんのようにシャキンとしていたから	高さ 8 cm ・ちょっとベタベタしてすべにおい。葉が3本ある	高さ 40 cm ・ちょっと固くてキュッとしている。くさたけが高い。	高さ 72 cm ・しっとりしている。花が咲いて実ができています。	名前: ホソバシュロソウ ・シュロの皮のようなせんいがある。患しゅうがある。
ノコギリソウ ・葉のよこらへんがぎざぎざしていたから	高さ 10 cm ・葉っぱがぎざぎざしていた。さらさらもしていた。	高さ 81 cm ・草たけが高くなった。さらさらしていた。	高さ 98 cm ・花が咲いてかかれていた。	名前: アソノコギリソウ● ・日当たりのよい草原に生える。葉がぎざぎざしている。
イヌノコヤ ・犬のこやみたいだったから	高さ 10 cm ・少しにがいにおい。葉がツルツルしていた。	高さ 165 cm ・1か月で105 cmものびた。葉が赤紫になった。	高さ 201 cm ・においはない。つるつるして葉がかかれていた。	名前: マンセンカラマツ● ・高山、高原にごくまれにしか見られない。
ナイフソウ ・先がとがってさわると指がきれそうだったから	高さ 18 cm ・さらさらしていて、下が固くて上がちくちくする。	高さ 165 cm ・もう自分を追いこすくらいになっている。	高さ ? ・いっしょうけんめいさがしたけど見つからなかった。	名前: ユウスゲ ・草原に生え、黄色い花を夕方さかせる。
タケホソ ・竹がほそくなっているみたいだから	高さ 4 cm ・さらさらしていて、甘そうなおい。	高さ 120 cm ・草たけが高すぎ。葉がじょうぶで葉で切ったりする。	高さ 195 cm ・もう少しで2 m。草たけが高い。	名前: ススキ ・花には花びらが無い。秋の七草の一つ。
キャベツノコ ・キャベツみたいで小さかったから	高さ 3 cm ・葉がふわふわしていた。	高さ 130 cm ・葉の数がふえていた。ちょっとにがいにおいがした。	高さ 201 cm ・つるがかかれていた。にがにおいが前より強い。	名前: バアソブ● ・草原にごくまれ。葉の下面は白い毛が多い。
ハルリンドウ ・教えてもらったから	高さ 5 cm ・花がふわふわしている。クリームのおいがある。	高さ 5 cm ・たくさんあったのに少しになっている。種がなくなった。	高さ 0 cm ・前にはあったけど、なくなっている。	名前: ハルリンドウ ・茎の先にコバルトブルーの花を咲かせる。
バセリ ・葉っぱがバセリみたいだったから	高さ 3 cm ・葉ががさがさしている。水のおいがある。	高さ 11 cm ・ブロッコリーのにおいがする。	高さ ? (はかっている) ・ほんもののバセリのにおいみたい。	名前: ツクシゼリ ・九州とくさんで、阿蘇に多い。にんじんのような葉。
フノキ ・ウサギのふんがこの植物の近くにあって	高さ 18 cm ・ふわふわしていて、ざっこごはんのにおい。	高さ 25 cm ・ヂクヂクしていて、ざっこごはんのにおい。	高さ 25 cm ・実がついていた。ざらざらしている。	名前: ノヤナギ● ・九州北部など限られたちいさな草原にまれに見られる。
レイトウソウ ・葉っぱが白くてこおっているみたいだから	高さ 3 cm ・葉っぱの縁が白い。葉をつぶしたら葉のにおいがした。	高さ 51 cm ・がさがさしていて、かいている。	高さ 16 cm ・にがにおいがする。新しい芽があった。	名前: オカオグルマ ・日当たりのよい草原に生える多年草。

※ワラビ（ワラビ）、フキノトウ（フキ）、シャキソウ（ヤマアザミ、ノアザミ）、ザラバ（コウゾリナ）、ユキソウ（フモトスミレ）、イチゴソウ（ミツバツチグサ）、チダケ（ネザサ）、ロイヤル（ヤマヤナギ）、サザクロ（カノコソウ）、ユウレイソウ（クサフジ）の11種類は省略
※5月18日、7月13日、10月16日の記録、草たけのグラフ、写真は省略。

- ・キスミレやハルリンドウは、春に花が咲いたあとに種ができて、かれてなくなった。
- ・4月には10cmくらいで小さかったタケホソ（ススキ）やイヌノコヤ（マンセンカラマツ）は、10月には2m以上になって、おとなの人をこすほど伸びた。
- ・ナイフソウ（ユウスゲ）やキャベツノコ（バアソブ）は、花が咲く前にかれてしまって、花が見られなかったので残念だった。
- ・シャキソウ（ノアザミ）やサザクロ（カノコソウ）は、花が咲いてかれてしまっても、近くにまた新しい芽を出していたからすごいと思った。
- ・7月になるとまわりの草がとても伸びて、ナイフソウ（ユウスゲ）や、サザクロ（カノコソウ）は、いっしょうけんめいさがしたけど見つからなかった。

(2) 押戸石の草原の変身



- ・丘の方は、7月から9月にかけてあまり伸びなかった。10月には草刈りがしてあった。
- ・谷の方は4月は草が短かったけど、7月と9月には先生も見えないくらい草が伸びていた。10月は少し草がかれてきた。

4 研究のまとめ

- ・キスミレやハルリンドウなど、春に花が咲く草花の中には夏にはかれてしまうものがあることがわかった。
- ・春に花が咲かない草花は、夏や秋になるまでどんどん大きくなっていき花が咲いたのが多いけど、とちゅうでかれてしまった草花もあった。
- ・イヌノコヤ（マンセンカラマツ）のように1か月で105cmも伸びた草花もあって、おとなの人のせたけをこすほどのびる草花もあった。
- ・野焼きをしてあった谷の方は草がどんどん伸びて、身長よりも大きくなった。草刈りをしてあった丘の方はあんまり草たけが大きくならなかった。
- ・シャキソウは、さわると痛くて同じ草花だと思っていたのが、大きくなっていくようすを観察したら、花の咲く時期も違ってノアザミとヤマアザミだった。よく似ていてもちがう草花があることがわかった。
- ・押戸石の草花の中には、キスミレやマンセンカラマツ、アソノコギリソウ、バアソブ、ノヤナギなど絶めつきぐ種がたくさんあることがわかった。
- ・草たけが高くなると、その草でうでを切ったり、手を切ったりするので長そでの服と長ズボン、それにぐん手があった方がいいと思った。